

## 《医見書 Ver3.4.2 機能追加について》

医見書 Ver3.4.2 では以下の内容に追加、変更しました。

### 【令和 8 年度診療報酬改定対応】

#### ■保険者詳細

令和 8 年 6 月以降の診療報酬単価の設定に対応

◇初診：293 点（291 点から変更）

※

「医療情報取得加算」は令和 8 年 5 月 31 日までの加算であるため  
入力不可項目に変更

◇診察・検査内容入力

初診を選択した際に、摘要欄に「外来・在宅物価対応料」の文言を設定

※

「医療情報取得加算」は令和 8 年 5 月 31 日までの加算であるため  
入力不可項目に変更

#### ■訪問看護指示書／精神科訪問看護指示書／特別訪問看護指示書／精神科特別 訪問看護指示書の令和 8 年度診療報酬改定書式対応

◇署名欄の文言「医師氏名」を「医師署名（又は記名押印）」に修正

◇署名欄の「印」の固定文言を削除

#### ■主治医意見書／医師意見書／訪問看護指示書／精神科訪問看護指示書

◇[傷病 1]タブ

・検索ボタンおよび登録／変更ボタンを押した際に、傷病名の確認に用いる  
傷病名コードの統一の推進リストを令和 8 年度診療報酬改定版に更新

### 【不具合修正】

#### ■主治医意見書／医師意見書

◇[請求]タブ

・医見書 Ver.3.4.1 にアップデート後、主治医意見書／医師意見書の  
新規作成（新たな履歴を追加）した際に、前回の「申請日」および  
「請求書情報（診察・検査内容入力画面で入力した内容）」が画面上に  
設定され、請求書が「発行済」と表示される不具合の修正

#### ■証明書ファイルの設定

◇WebORCA クラウド版との連携を行う際に必要となる「証明書ファイルの  
設定」と「証明書パスワードの設定」を行う画面を追加

### 【WebORCA クラウド版との連携対応機能追加】

- 日医標準レセプトソフト連携（連携 API による WebORCA クラウド版との連携に対応）
- ◇ 日医標準レセプトソフト連携（連携 API による WebORCA クラウド版との連携に対応）
  - ・ 画面項目「日医標準レセプトソフトバージョン」の選択肢に" WebORCA "を追加
- ◇ 患者情報一覧
  - 【日レセから検索する】（連携 API による WebORCA クラウド版との連携に対応）
  - ・ 通信設定に「WebORCA で検索する」のチェックボックスを追加

※WebORCA クラウド版との連携対応機能追加には、医見書での Java のバージョンと WebORCA クラウドでご利用の証明書の場所の確認、証明書のパスワード、API キーが必要です。

ご不明な場合は、WebORCA クラウドの導入業者様にご連絡いただき、ご確認をお願いいたします。

### 【医見書 Ver3.4.2 の変更内容】

#### ■ 令和 8 年度診療報酬改定

令和 8 年 6 月以降の診療報酬単価の設定に対応しました。

#### ◇ 初診料：293 点（変更前：291 点）に変更

また「医療情報取得加算」は令和 8 年 5 月 31 日までの加算であるため入力不可項目に変更しました。

#### 【初診料の変更方法】

- 1) 医見書の「メインメニュー」→[基礎データ登録（B）]→[「保険者」登録/更新画面（B）]を選択します。  
保険者一覧画面で該当する保険者の詳細画面を開きます。
- 2) 保険者詳細画面の[保険者情報 2]タブをクリックします。
- 3) 画面右下の[令和 08 年診療報酬単価]をクリックして点数変更をおこないます。

## 【保険者詳細】画面

保険者詳細

戻る(B) 更新(S)

保険者情報1 保険者情報2

請求書印刷(「主治医意見書」「医師意見書」印刷時)  印刷する CSVファイルでの「主治医意見書」「医師意見書」の提出  提出する  印刷と同時に伝送ファイルを出力する

「主治医意見書」「医師意見書」印刷オプション

医師氏名  印刷する 頁ヘッダ(保険者・被保険者番号)  印刷する 頁ヘッダ(在宅・施設区分)  印刷する 2頁目ヘッダ(氏名、年齢、記入日)  印刷する

意見書作成料/診察・検査費用点数

意見書作成料

在宅	新規	5000 円	施設	新規	4000 円
	継続	4000 円		継続	3000 円

診察費用点数 - 小数点第一位まで

初診料	診療所	293 点	医療情報取得加算(令和8年5月31日まで)	0 点
	病院	293 点	医療情報取得加算2(令和6年11月30日まで)	0 点

診察・検査費用点数 - 小数点第一位まで

血液採取(静脈)	40 点	尿中一般物質定性半定量検査	2 点
末梢血液一般検査	21 点	単純撮影(アナログ)	6 点
血液学的検査判断料	125 点	単純撮影(デジタル)	6 点
血液化学検査(10項目以上)	103 点	写真診断(胸部)	8 点
生化学的検査(判断料)	144 点	フィルム(大角)	12 点

令和08年診療報酬単価をクリックすると、初診料が変更されます。

令和08年診療報酬単価(D)

### ◇診察・検査内容入力

初診を選択した際に、摘要欄に「外来・在宅物価対応料」の文言を設定  
また「医療情報取得加算」は令和8年5月31日までの加算であるため  
入力不可項目に変更しました。

## 【診察・検査内容入力】画面

診察・検査内容入力

請求先  
意見書作成料請求先(番号): 日本市 <111111>  
診察・検査料請求先(番号): 日本市 <111111>

意見書作成料  
在宅 継続 4,000 円 消費税率 0 %

診察・検査内容(意見書作成のために行った基本的な診察・検査費用を入力してください)

<input type="checkbox"/> 血液採取(静脈)	点	<input type="checkbox"/> 尿中一般物質定性半定量検査	点
<input type="checkbox"/> 血液一般検査	点	<input type="checkbox"/> 胸部単純X線撮影	点
<input type="checkbox"/> 末梢血液一般検査	点	<input type="checkbox"/> 単純撮影(アナログ)	点
<input type="checkbox"/> 血液学的検査判断料	点	<input type="checkbox"/> 単純撮影(デジタル)	点
<input type="checkbox"/> 血液化学検査	点	<input type="checkbox"/> 写真診断(胸部)	点
<input type="checkbox"/> 血液化学検査	点	<input type="checkbox"/> フィルム(大角)	点
<input type="checkbox"/> 生化学的検査(判断料)	点	<input type="checkbox"/> 電子画像管理加算	点
<input type="checkbox"/> 認知機能検査(簡易なもの)	点	<input type="checkbox"/> 画像記録用フィルム(大角)	点

内訳	占数	摘要
<input checked="" type="checkbox"/> 初診	291	外来・在宅物価対応料
<input type="checkbox"/> 医療情報取得加算(令和8年5月31日まで)		
<input type="checkbox"/> 医療情報取得加算2(令和6年11月30日まで)		
検査		
胸部単純X線撮影		
血液一般検査		
血液化学検査		
尿中一般物質定性半定量検査		
合計	291	点数合計×10円 2910 円

請求先・点数再設定(D) 確定(S) キャンセル(C)



## 【不具合修正】

### ■主治医意見書／医師意見書

#### ◇[請求]タブ

- ・ 医見書 Ver.3.4.1 にアップデート後、主治医意見書／医師意見書の新規作成（新たな履歴を追加）した際に、前回の「申請日」および「請求書情報（診察・検査内容入力画面で入力した内容）」が画面上に設定され、請求書が「発行済」と表示される不具合を修正いたしました。

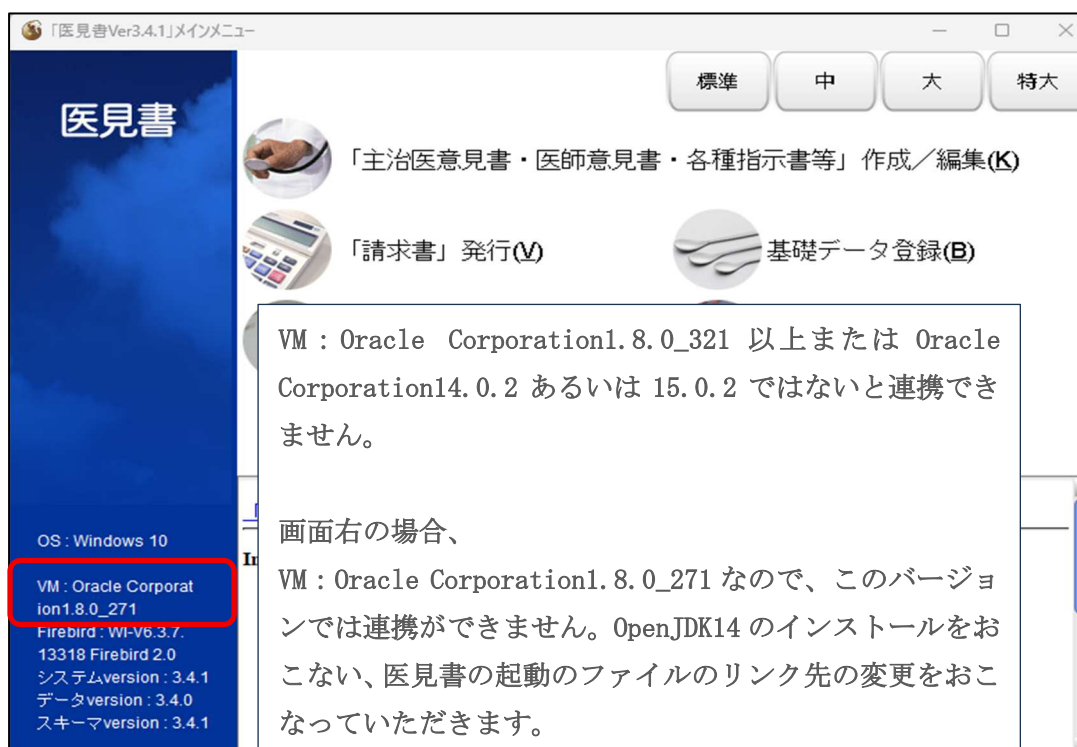
### ■日医標準レセプトソフト連携（WebORCA クラウド版との連携に対応）

画面目「日医標準レセプトソフトバージョン」の選択肢に" WebORCA "を追加し、WebORCA クラウドとの連携に対応いたしました。

#### ～ご注意～

WebORCA クラウド版と連携をおこなう場合は、医見書ソフトの Java のバージョンをご確認いただきます。

Oracle jre の 1.8.0\_321 以上または OpenJDK.14 または 15 で動作いたしますので、医見書の Java の確認を以下の方法でおこなってください。



## 【OpenJDK (java) 導入方法】

### ■Java のアンインストール

1.

キーボードの **Windows** マークを押しながら、「**R**」を押します。  
ファイル名を指定して実行という画面が表示されますので、  
名前(O):の右側の空欄に「**control**」と入力し[OK]をクリックします。  
コントロールパネルが表示されます。

2.

コントロールパネルが表示されましたら、右上の表示方法を  
[大きいアイコン]か[小さいアイコン]に変更してください。

3.

「プログラムと機能」をクリックすると、名前のなかに **Java** が  
ありまししたら、右クリックしてアンインストールをおこなってください。

※

Java がない場合はコントロールパネル画面を閉じて、以下の操作をお願いします。

次に以下 URL にある OpenJDK (Java)のインストールをお願いします。

[https://ftp.orca.med.or.jp/pub/ikensyo/dl/openjdk\\_setup\\_14.0.2.exe](https://ftp.orca.med.or.jp/pub/ikensyo/dl/openjdk_setup_14.0.2.exe)



インストールが完了しましたら、医見書のリンク先の変更をおこない、医見書の起動の確認をお願いいたします。

PC のデスクトップにある[医見書システム ver2.5]にカーソルをあわせて、右クリック後、[プロパティ]を開き、リンク先の項目を以下に変更してください。

`C:\openjdk\bin\javaw.exe -jar C:\ikensyo2.5\ikensyo.jar`

変更ができましたら、右下の[適用]をクリック後、[OK]を押していただき、医見書が正常に起動するかご確認をお願いします。

OpenJDK をインストールし、リンク先を変更すると、画面左の VM が 14.0.2 になります。

Java の確認ができましたら、WebORCA クラウド版との連携をおこなうため  
以下記載の準備をお願いします。

**【WebORCA クラウド版との連携設定で必要な項目】**

- ・ WebORCA クラウド版でご利用の証明書場所の確認
- ・ WebORCA クラウド版でご利用の証明書のパスワード
- ・ WebORCA クラウド版でご利用の証明書の API キー

WebORCA クラウド版でご利用の証明書についてご不明な点がございましたら  
導入業者様にご確認をお願いいたします。

◆WebORCA との連携をおこなうには、以下記載の設定が必要となります。

1) 証明書の設定

WebORCA でご利用のクライアント証明書の設定が必要になります。

医見書 [メインメニュー] → [設定] → [証明書ファイルの設定]の順に開きます。

**【証明書のファイル設定】**画面が表示されますので、WebORCA のクライアント  
証明書の配置場所、また証明書のパスワードの設定をおこなってください。

**【証明書ファイルの設定】**

証明書ファイルの設定

証明書ファイルの設定

ファイル名 3\_JP\_u00000156\_client833\000833\_JP\_u00000156\_client833.p12 参照(L)

証明書ファイルを設定してください。  
例 → C:\nikensyo2.5\cert\クライアント証明.p12

証明書パスワードの設定

パスワード ●●●●●●●●●●

証明書パスワードを設定してください。

設定(S) キャンセル(C)

2) 日医標準レセプトソフト連携

医見書 [メインメニュー] → [その他の機能] → [日医標準レセプトソフト連携] の順  
に開きます。以下のように設定してください。

## 【日医標準レセプトソフト連携】

患者様の一覧が表示されますので、取り込みたい患者様を選択し、画面右上の「取り込み」をクリックしてください。

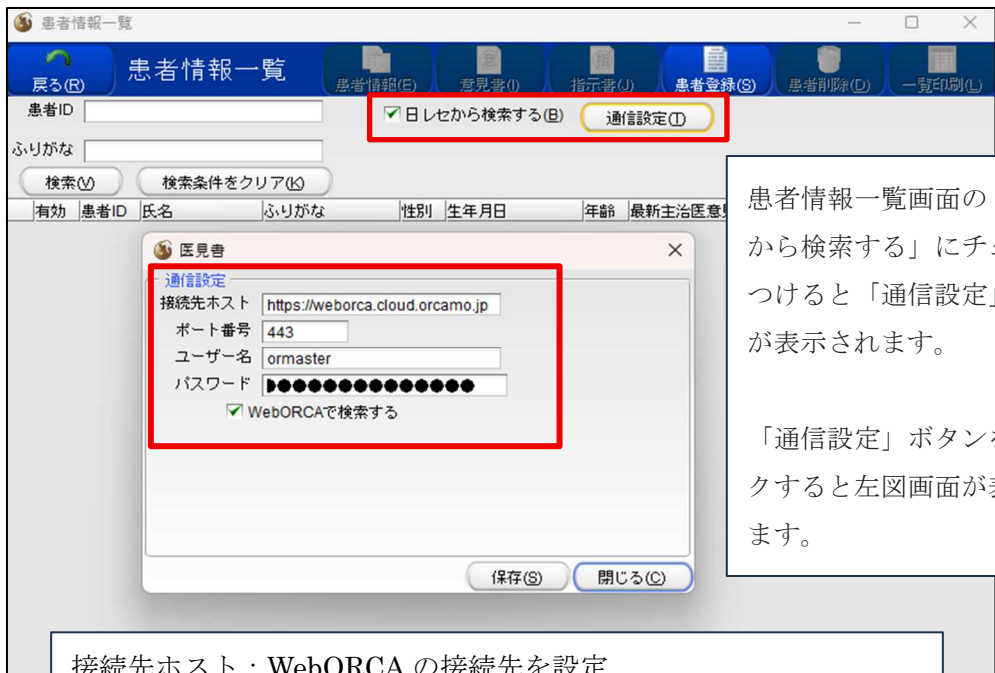
### ◆患者情報一覧（[日レセから検索する]（連携 API による WebORCA クラウド版の連携に対応）

医見書 [メインメニュー] → [「主治医意見書・医師意見書・各種指示書等」作成/編集] を開きます。患者情報一覧画面が表示されます。  
「日レセから検索する」にチェックをつけます。

通信設定をおこない、保存後、患者 ID またはふりがなのいずれかを設定し、検索ボタンをクリックしてください。

通信設定変更後、保存をクリックすれば、次回検索後改めて設定する必要はありません。

## 【患者情報一覧】



患者情報一覧画面の「日レセから検索する」にチェックをつけると「通信設定」ボタンが表示されます。

「通信設定」ボタンをクリックすると左図画面が表示されます。

接続先ホスト : WebORCA の接続先を設定  
https://weborca.cloud.orcamo.jp

ポート番号 : 443

ユーザー名 : WebORCA クラウド版で設定しているユーザー名

パスワード : API キーを設定

上記設定ができましたら、「保存」をクリックします。「患者 ID」または「ふりがな」を設定し、「検索」をおこなってください。